

成人病の早期発見は 短期人間ドックで

短期人間ドックで

病気によつては自覚症状がないまま進行するものがあります

が、特に成人病といわれるガンや心臓病、脳卒中などは、まったく気づかないうちに病状が悪化し、症状が現われたときにはすでに手遅れというケースが少なくありません。

人間ドック 利用者の声

伊藤芳夫さん（上町）

「若い頃に大病していますので、健康には細心の注意をはらっています。以前は千葉にまで出掛けて『人間ドック』を利用していましたが、仲間が『町でもできるよ』と、申し込んでくれたんです。先生や看護婦さんが親切にできばきと診察してくれまして、安心して検査を受けられました。健康は宝です。年齢的にも体力の衰えがきている私どもにとっては、最適な健康管理になります。」



中沢 英雄・美智子さん（東町）



「お互に健康に不安を感じる40代。この大事な時に倒れてしまっては、と思い、私は2年前から、妻は昨年利用しましたが、妻は昨日利用しましたが検査の結果、どこも悪くなく、今は安心して商売に精を出しています。よく友人やお客様から『人間ドック』で検査の連続で苦痛があつて大変なんですよ」と、聞かれるんですが、皆さんが思つほどではありません。とにかく安い費用で健康のよしあしが分るのでありますからあります。」

見に努めることが何よりも大切なことです。

町ではこうした目的で、国民健康保険の加入者を対象に「短期人間ドック」を開設しています。

健康は家族全員の願いです。

わずかな費用と日数で健康管理に役立つこの制度を、ぜひご利用ください。

▽利用できる人は

・国保加入者で35歳～55歳（原

則として）

▽期間は

- ・2泊3日（やむを得ない場合は通院もできます）

▽病院は

- ・組合立東陽病院

▽負担金は

- ・九千円（総費用六万円のわずか15パーセント）

▽申し込み・問い合わせ

- ・住民課国保係（内線41）へ

人間ドックの予定表

	午 前	午 後
第1日		4時入院
第2日	身長・体重、血圧測定、検尿・検便、赤沈、血液化学・血球算・血清の各検査、糖負荷試験、胸部レントゲン、婦人科受診	心電図検査 一般診察
第3日	濃縮試験、血圧測定、胆のう造影、胃レントゲン、PSP試験、外科受診	眼科検査 肺活量測定 退院

組合立東陽病院

